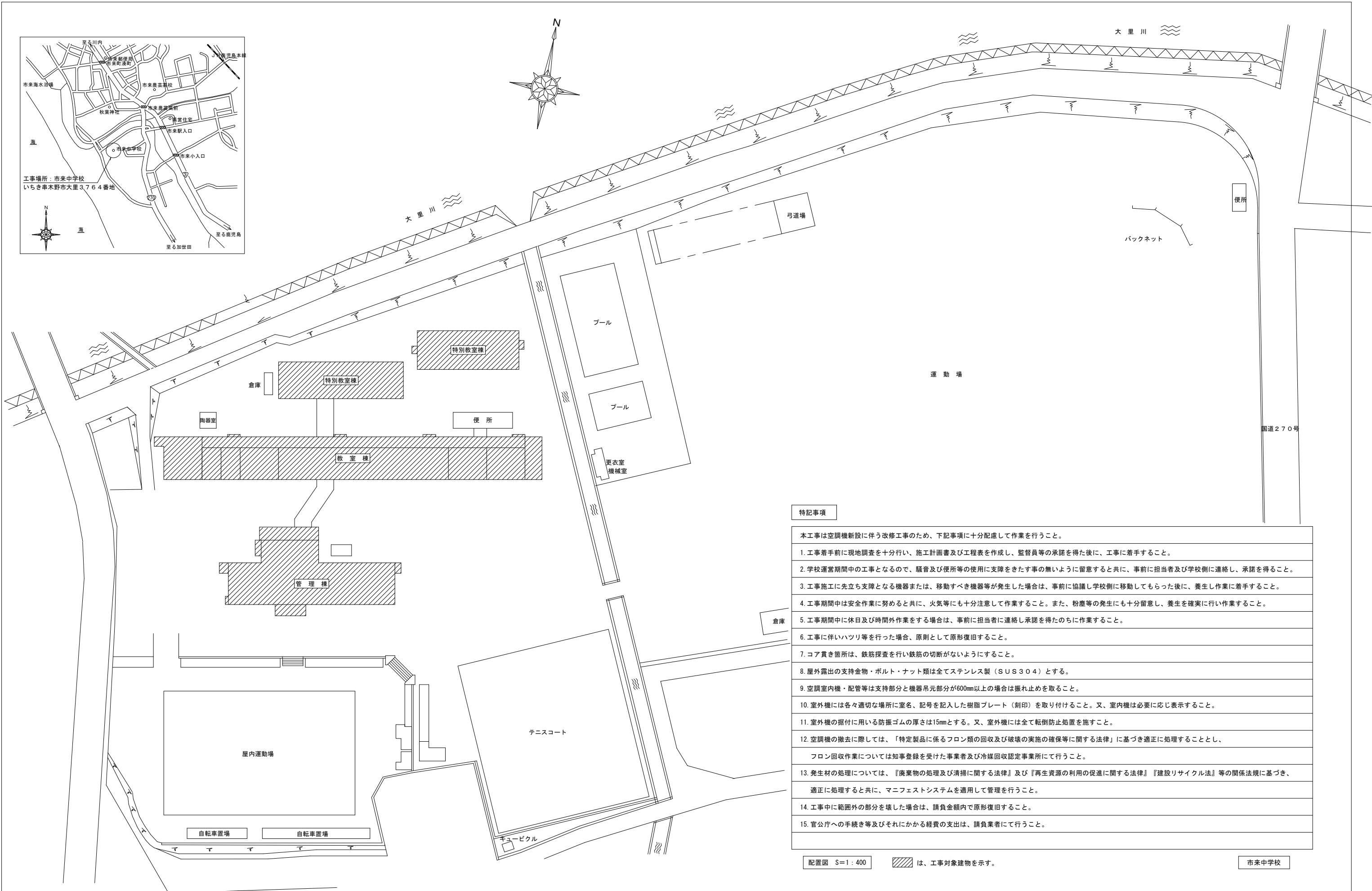
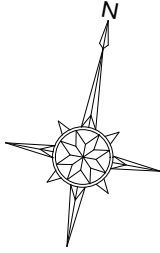
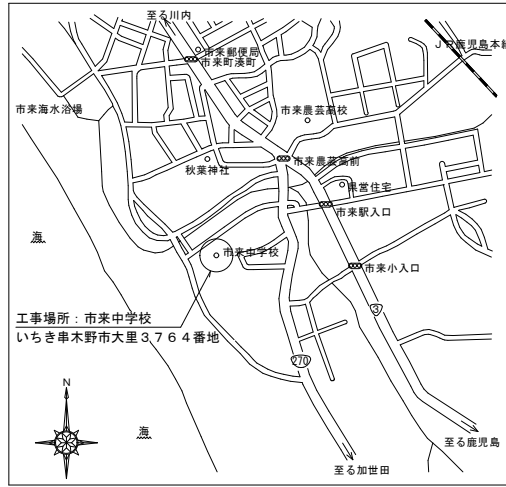


市来中学校空調整備工事（機械設備）

図面リスト

図面番号	図面名称	縮尺
M-01	機械設備特記仕様書	No Scale
M-02	配置図・付近見取図・特記事項	A1: 1/400 A3: 1/800
M-03	新設機器表、凡列表、室外機基礎詳細図	No Scale
M-04	管理棟1・2階平面図（改修後）	A1: 1/100 A3: 1/200
M-05	教室棟1・2階平面図（改修後）	A1: 1/150 A3: 1/300
M-06	理科室棟1階平面図（改修後）	A1: 1/100 A3: 1/200
M-07	技術家庭科室棟1・2階平面図（改修後）	A1: 1/100 A3: 1/200
M-08	管理棟1・2階制御平面図（改修後）	A1: 1/100 A3: 1/200
M-09	教室棟1・2階制御平面図（改修後）	A1: 1/150 A3: 1/300
M-10	理科室棟1階制御平面図（改修後）	A1: 1/100 A3: 1/200
M-11	技術家庭科室棟1・2階制御平面図（改修後）	A1: 1/100 A3: 1/200
M-12	撤去機器表、凡列表	No Scale
M-13	管理棟1・2階平面図（改修前）	A1: 1/100 A3: 1/200
M-14	教室棟1・2階平面図（改修前）	A1: 1/150 A3: 1/300
M-15	理科室棟1階平面図（改修前）	A1: 1/100 A3: 1/200
M-16	施工要領参考図	No Scale



特記事項

- 本工事は空調機新設に伴う改修工事のため、下記事項に十分配慮して作業を行うこと。
1. 工事着手前に現地調査を十分行い、施工計画書及び工程表を作成し、監督員等の承諾を得た後に、工事に着手すること。
 2. 学校運営期間中の工事となるので、騒音及び便所等の使用に支障をきたす事の無いように留意すると共に、事前に担当者及び学校側に連絡し、承諾を得ること。
 3. 工事施工に先立ち支障となる機器または、移動すべき機器等が発生した場合は、事前に協議し学校側に移動してもらった後に、養生作業に着手すること。
 4. 工事期間中は安全作業に努めると共に、火気等にも十分注意して作業すること。また、粉塵等の発生にも十分留意し、養生を確実にを行い作業すること。
 5. 工事期間中に休日及び時間外作業をする場合は、事前に担当者に連絡し承諾を得たのちに作業すること。
 6. 工事に伴いハツリ等を行った場合、原則として原形復旧すること。
 7. コア貫き箇所は、鉄筋探査を行い鉄筋の切断がないようにすること。
 8. 屋外露出の支持金物・ボルト・ナット類は全てステンレス製（SUS304）とする。
 9. 空調室内機・配管等は支持部分と機器吊元部分が600mm以上の場合は振れ止めを取ること。
 10. 室外機には各々適切な場所に室名、記号を記入した樹脂プレート（刻印）を取り付けること。又、室内機は必要に応じ表示すること。
 11. 室外機の据付に用いる防振ゴムの厚さは15mmとする。又、室外機には全て転倒防止処置を施すこと。
 12. 空調機の撤去に際しては、「特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律」に基づき適正に処理することとし、フロン回収作業については知事登録を受けた事業者及び冷媒回収認定事業所にて行うこと。
 13. 発生材の処理については、『廃棄物の処理及び清掃に関する法律』及び『再生資源の利用の促進に関する法律』『建設リサイクル法』等の関係法規に基づき、適正に処理すると共に、マニフェストシステムを適用して管理を行うこと。
 14. 工事中に範囲外の部分を壊した場合は、請負金額内で原形復旧すること。
 15. 官公庁への手続き等及びそれにかかる経費の支出は、請負業者にて行うこと。

配置図 S=1:400 は、工事対象建物を示す。

市来中学校

備考	一級建築士事務所 知事登録1-4-139号 株式会社 ナック 一級建築士登録番号102867号 大角成人 〒890-0014 鹿児島市基町2丁目56番17号 電話(099)223-2983	検印 検 図 担 当 製 図	設計年月日	工 事 名	市来中学校空調整備工事（機械設備）	図面番号
			R6.9			
			縮 尺	図面種類	配置図・付近見取図・特記事項	
			A1:1/400 A3:1/800			
	代表取締役 小島真史					

機器一覧表

記号	機器名	室内機型式	仕様	圧縮機 (kw)	電気特性 (参考)		APF	台数	設置場所	備考
					電源	消費電力 (kw)				
FAC 1	空冷ヒートポンプ式 パッケージエアコン	天井吊形 シングルタイプ	冷房能力 : 10.0kw (4.8~11.2)	2.10	3φ/200V	2.77	5.2	1	1階 図書室	高機能ワイヤードリモコン、防護ゴム (t=15mm)、転倒防止ワイヤー、 ドレンアップ有り、耐重塩害仕様
			暖房能力 : 11.2kw (5.1~14.0)			2.85				
FAC 2	空冷ヒートポンプ式 パッケージエアコン	天井吊形 同時ツインタイプ	冷房能力 : 14.0kw (6.3~16.0)	3.70	3φ/200V	5.56	4.6	2	1階 美術室、2階 図書室	高機能ワイヤードリモコン、防護ゴム (t=15mm)、転倒防止ワイヤー、 ドレンアップ無し、耐重塩害仕様
			暖房能力 : 16.0kw (7.2~19.0)			4.45				
FAC 3	空冷ヒートポンプ式 パッケージエアコン	天井吊形 同時ツインタイプ	冷房能力 : 20.0kw (10.1~22.4)	5.05	3φ/200V	6.81	4.7	2	1階 技術室、2階 被服室	高機能ワイヤードリモコン、防護ゴム (t=15mm)、転倒防止ワイヤー、 ドレンアップ無し、耐重塩害仕様
			暖房能力 : 22.4kw (10.1~27.0)			6.74				
FAC 4	空冷ヒートポンプ式 パッケージエアコン	天井吊形 同時ツインタイプ	冷房能力 : 25.0kw (11.3~28.0)	7.30	3φ/200V	9.80	4.7	3	1階 理科室①、1階 理科室②、2階 調理室	高機能ワイヤードリモコン、防護ゴム (t=15mm)、転倒防止ワイヤー、 ドレンアップ無し、耐重塩害仕様
			暖房能力 : 28.0kw (12.6~31.5)			8.88				
FAC 5	空冷ヒートポンプ式 パッケージエアコン	天井埋込力セット形 (4方向) 同時ツインタイプ	冷房能力 : 12.5kw (5.7~14.0)	3.15	3φ/200V	3.87	5.8	2	2階 パソコン室	高機能ワイヤードリモコン、防護ゴム (t=15mm)、転倒防止ワイヤー、 ドレンアップ有り、耐重塩害仕様
			暖房能力 : 14.0kw (6.3~18.0)			3.43				

- 空調機の選定機種については、省エネ法及びグリーン購入法の基準をクリアするものとする。
- 空調機の選定機種については、2015年省エネ基準値の基準をクリアするものとする。
- リモコン配線等に樹脂製の表示札を取り付け、種別・行き先等を表示すること。
- 電源線、リモコン線については、メーカー仕様品とする。
- 空調機選定後は、速やかに電気工事施工業者と打合せを行い、空調運転に支障のないようにすること。

凡例表

記号	名称	管種
—R—	冷媒管	断熱材被覆銅管
—D—	ドレン管	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)
Ⓡ	空調機リモコン	高性能ワイヤード

保温仕様

	屋内隠蔽	屋内露出	屋外露出
冷媒管	フープ巻 (1m巻) [※]	保温化靴カス (PD)	保温化靴カス (PD)
ドレン管	保温フープ巻 (フープ巻)	合成樹脂製カパー2	—

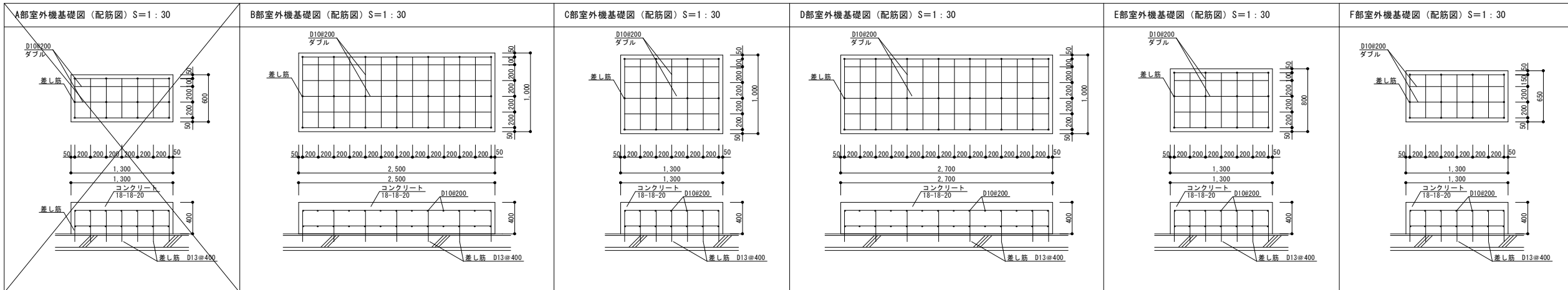
※ 冷媒配管の保温厚はダクト管20mm、液管10mmとする。

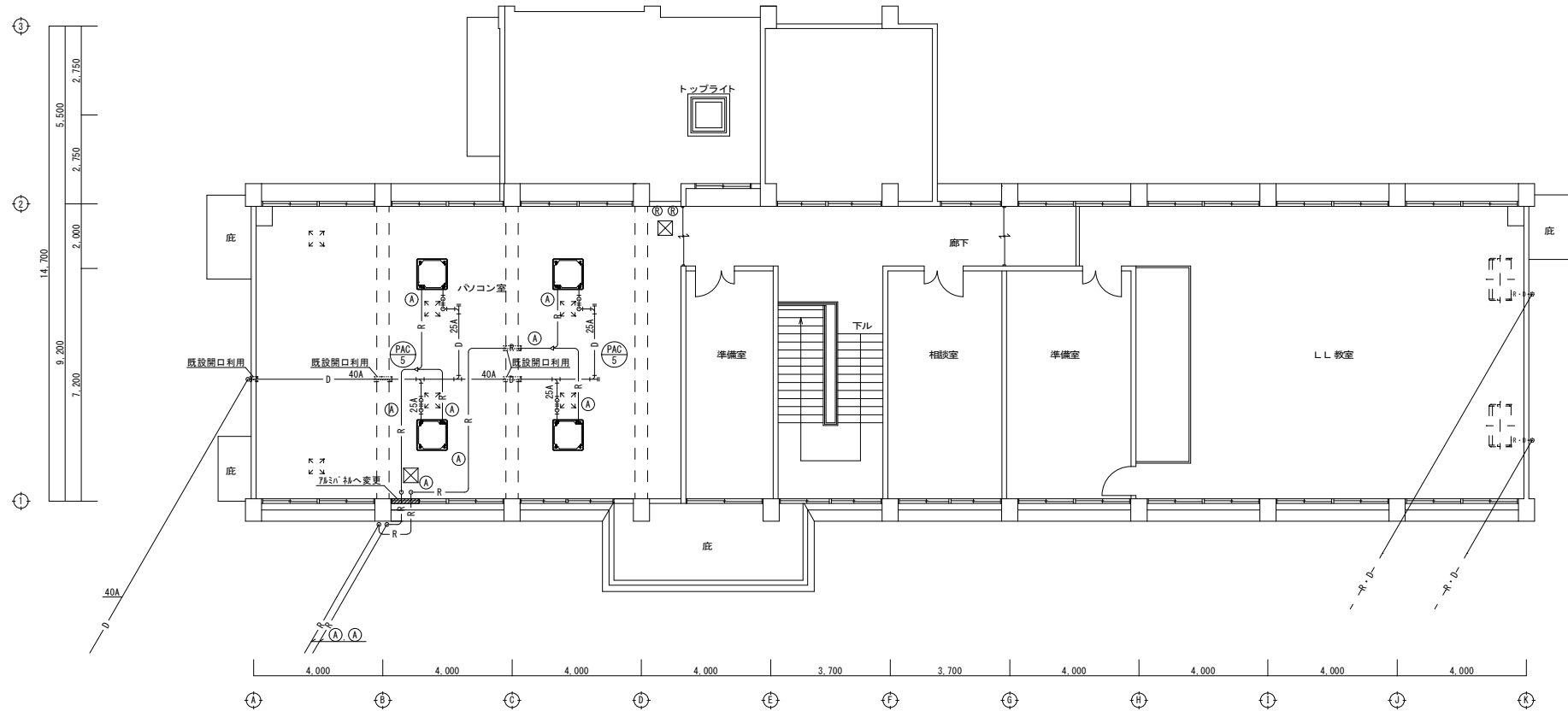
アルミパネル貫通施工例

アルミパネル改修表 ※アルミパネル厚さは3mm

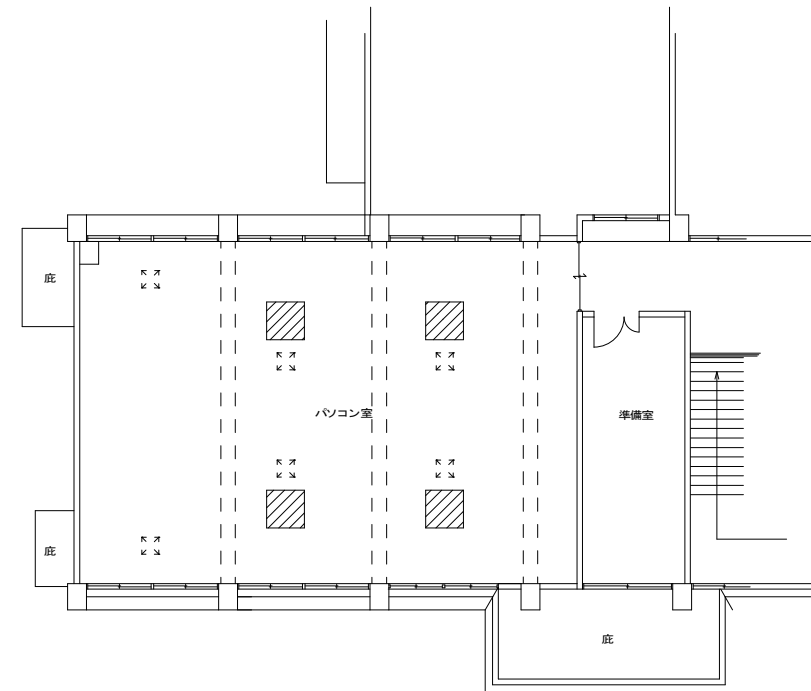
室名	パネル寸法 W×H (mm)	数量	備考
管理棟	2階 パソコン室	800×600	1 コーキング共
教室棟	1階 美術室	550×800	1 コーキング共
	2階 図書室	500×650	1 コーキング共
特別教室棟	2階 廊下 (図書室前)	550×750	1 コーキング共
	1階 理科室②	700×950	1 コーキング共
特別教室棟	1階 技術室	950×900	1 コーキング共
	2階 被服室	950×900	1 コーキング共
	2階 調理室	950×900	1 コーキング共

※ アルミパネル取付箇所は、窓開閉ストッパーを取付のこと。
 ※ アルミパネルの開口は最小寸法とする。
 ※ カーテン閉め用のフックを取付のこと。



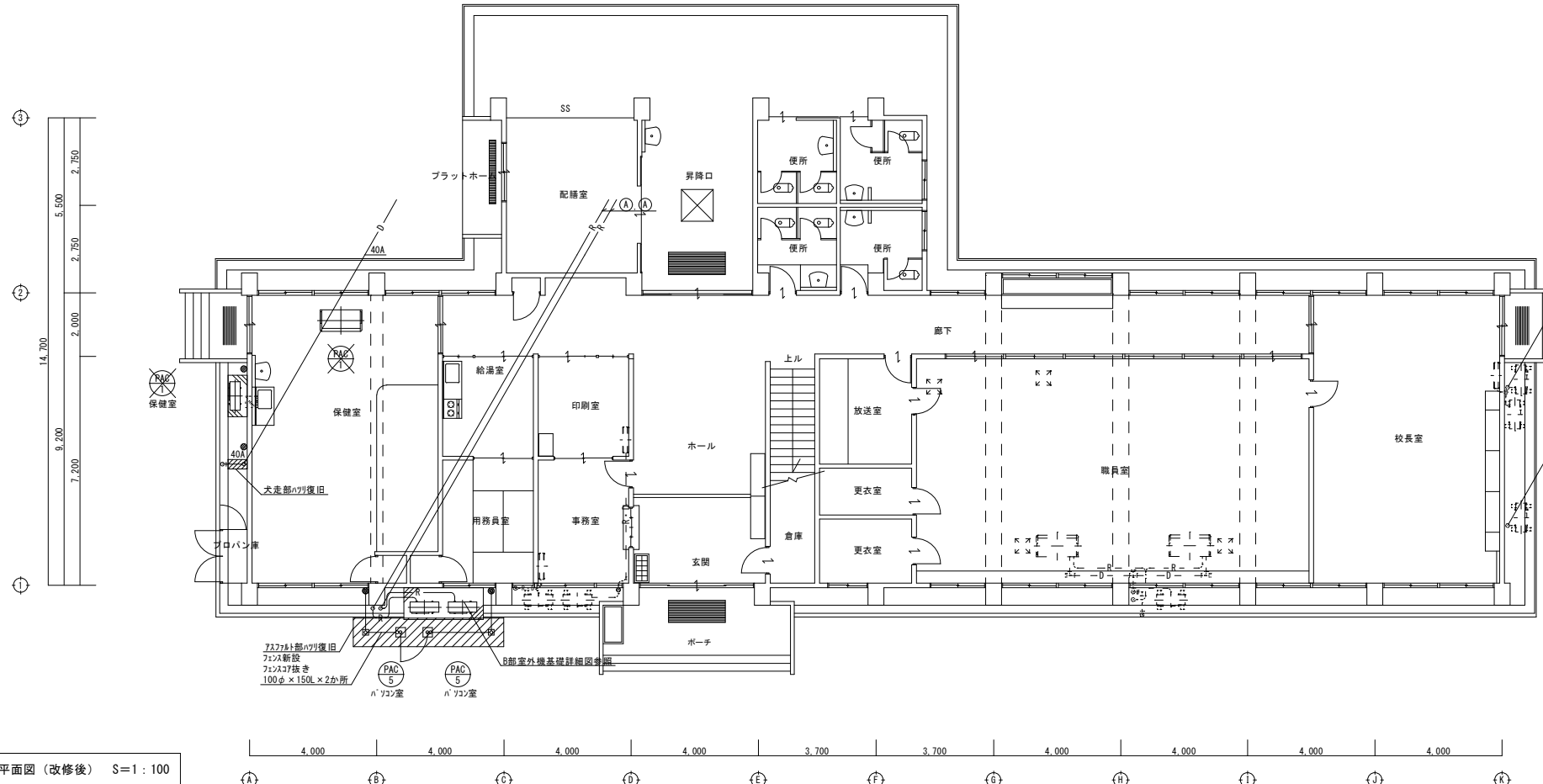


2階平面図 (改修後) S=1:100



天井カセット型、設置部天井補修及び開口補強部を示す。
 天井材撤去・補修仕上げ材
 化粧石膏ボード A9
 天井カセット型開口補強参考寸法 (メーカー仕様による)
 参考寸法: 950×950

2階パソコン室天井補修図 (改修後) S=1:100



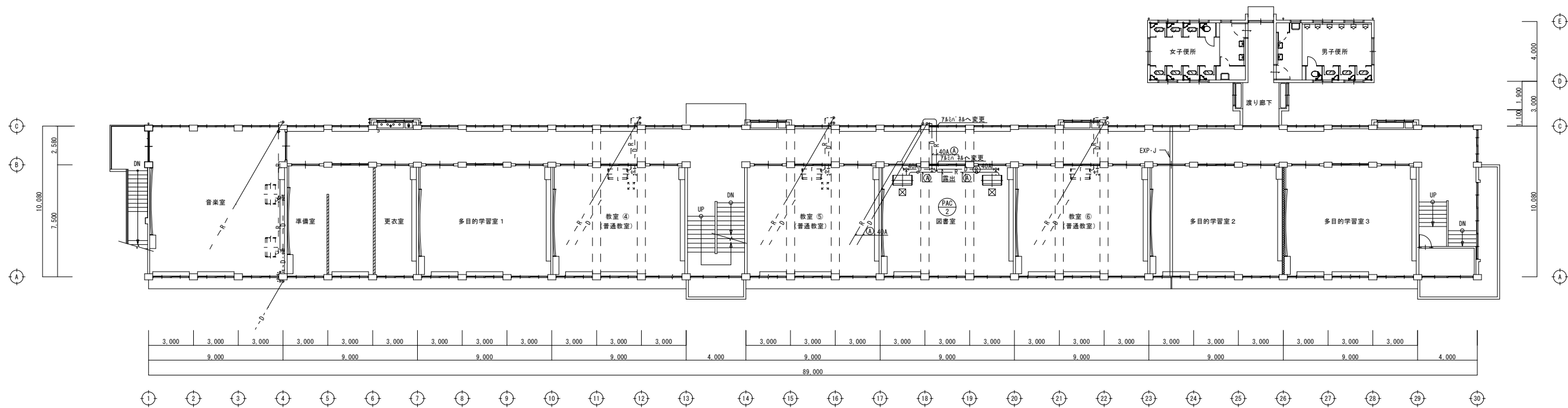
1階平面図 (改修後) S=1:100

- 注記・凡例
- 実線は、機器・配管の新設を示す。
 - 破線は、機器・配管の既設を示す。
 - は、既設配管との接続位置を示す。
 - ☒は、新設点検口を示す。(450×450)
 - ⊕は、既設点検口を示す。
 - ⊙は、コア抜き箇所を示す。
 - ⊗は、既設RC壁貫通口再利用箇所を示す。
 - 印は、区画貫通処理を示す。
(防火上主要な間仕切りを貫通する配管は、区画貫通処理 (大臣認定工法) にて施工すること。)
 - 空調機・点検口設置箇所には、天井開口補強を行うこと。
 - ドレン管は、側溝放流とし、防虫網 (SUS製) を設置すること。
 - 配管の露出部分は、防虫網 (A型) にて施工を行うこと。
 - 高所での作業時は墜落防止用器具を着用し、安全対策を実施すること。
 - 外壁部及び水密を必要とするアリの補修は、防水コーキング等で処理を行うこと。

冷媒配管サイズ表

記号	液管-ガス管
A	9.5φ-15.9φ
B	9.5φ-25.4φ
C	12.7φ-25.4φ

市来中学校

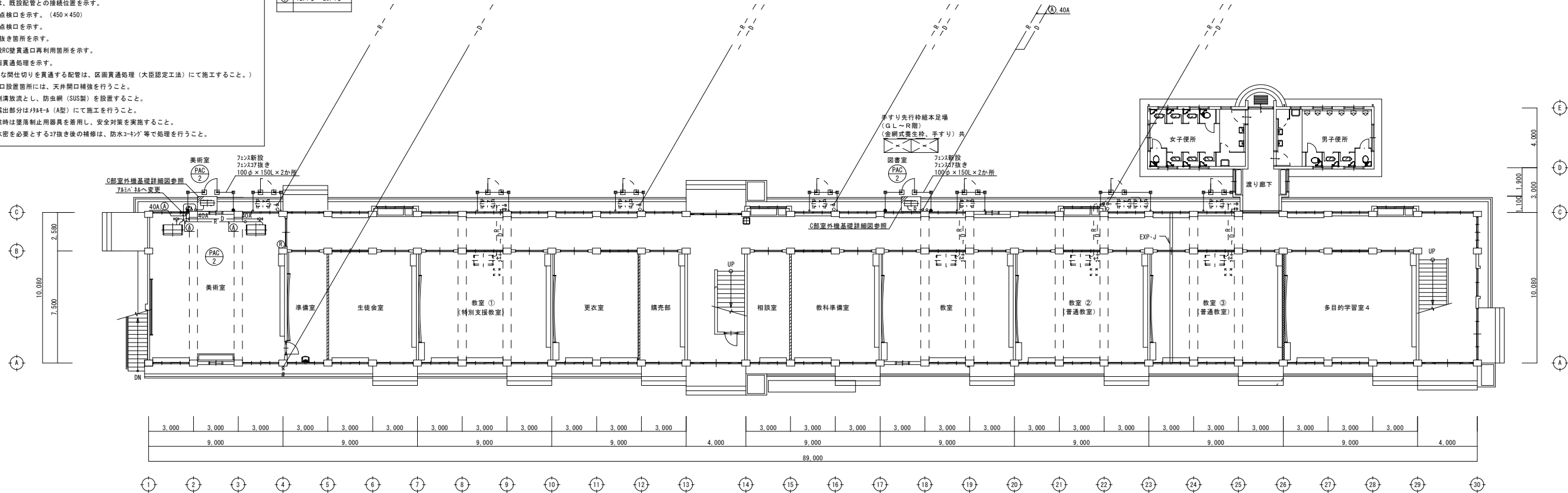


- 注記・凡例)**
- 実線は、機器・配管の新設を示す。
 - 破線は、機器・配管の既設を示す。
 - +— は、既設配管との接続位置を示す。
 - ⊠ は、新設点検口を示す。(450×450)
 - ⊞ は、既設点検口を示す。
 - ⊙ は、コア抜き箇所を示す。
 - ↑/↓ は、既設RC壁貫通口再利用箇所を示す。
 - 印は、区画貫通処理を示す。
(防火上主要な間仕切りを貫通する配管は、区画貫通処理(大臣認定工法)にて施工すること。)
 - 空調機・点検口設置箇所には、天井開口補強を行うこと。
 - ドレン管は、側溝放流とし、防虫網(SUS製)を設置すること。
 - ドレン配線の高出部分はA型(A型)にて施工を行うこと。
 - 高所での作業時は墜落制止用器具を着用し、安全対策を実施すること。
 - 外壁部及び水密を必要とする77抜き後の補修は、防水コーキング等で処理を行うこと。

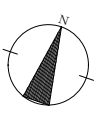
冷媒配管サイズ表

記号	冷媒	ガス管
①	R410A	9.5φ-15.9φ
②	R410A	9.5φ-25.4φ
③	R410A	12.7φ-25.4φ

2階平面図 (改修後) S=1:150

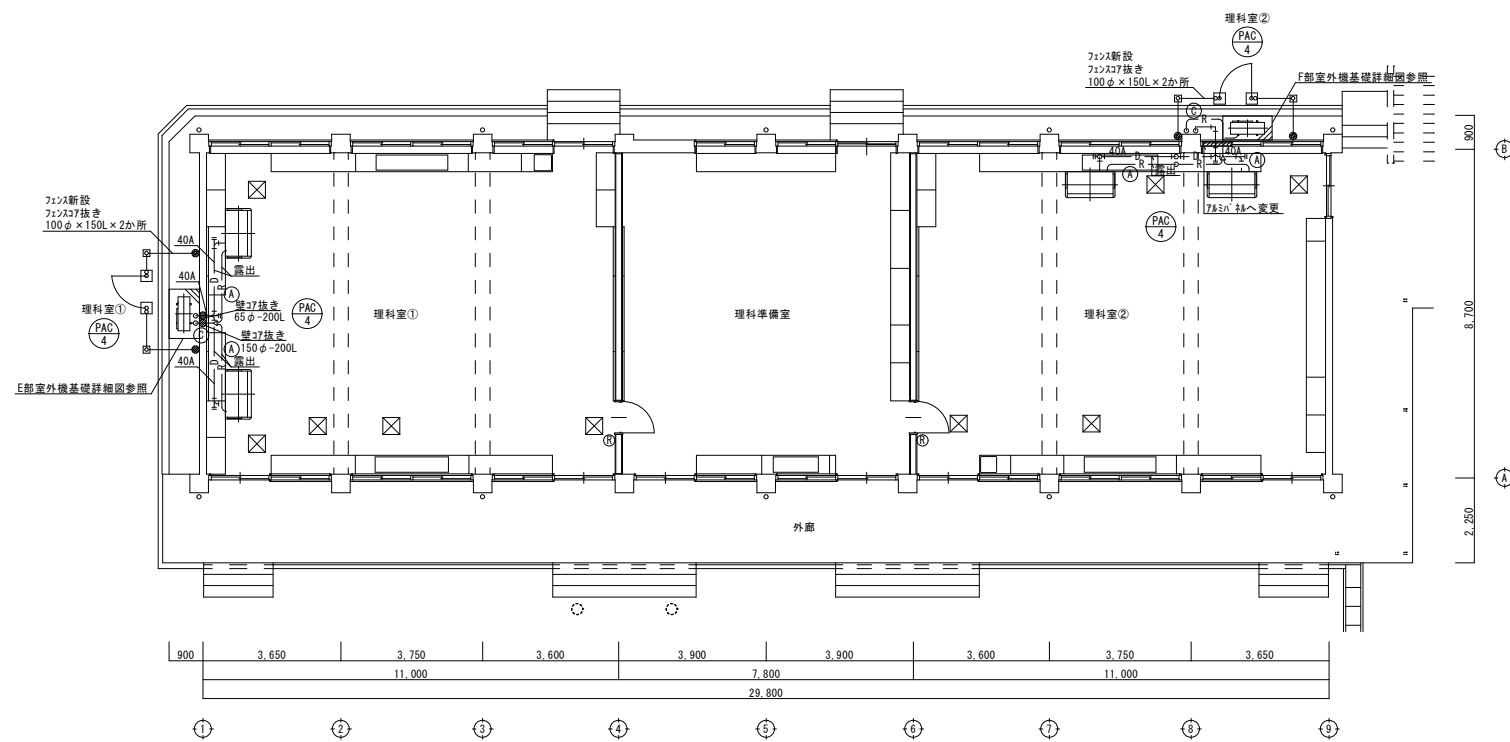


1階平面図 (改修後) S=1:150



市来中学校

備考	一級建築士事務所 知事登録1-4-139号 株式会社 ナツク 一級建築士登録番号102867号 大角成人 〒890-0014 鹿児島市早稲田2丁目56番17号 電話(099)223-2983	校印 検 図 担 当 製 図	設計年月日	工 事 名	市来中学校空調整備工事(機械設備)	図面種類	教室棟1・2階平面図(改修後)	図面番号	M-05
			R6.9						



1階平面図 (改修後) S=1:100

注記・凡例

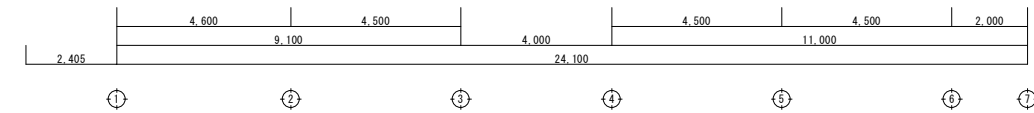
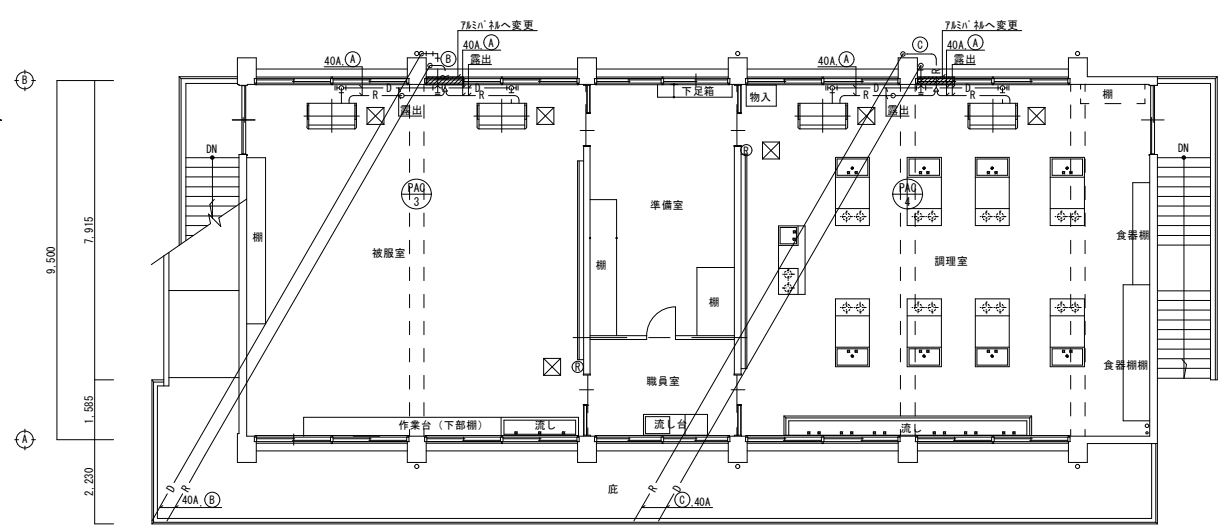
1. 実線は、機器・配管の新設を示す。
2. 破線は、機器・配管の既設を示す。
3. --- は、既設配管との接続位置を示す。
4. ⊠ は、新設点検口を示す。(450×450)
5. ⊞ は、既設点検口を示す。
6. ⊙ は、コア抜き箇所を示す。
7. ⊚ は、既設RC壁貫通口再利用箇所を示す。
8. ●印は、区画貫通処理を示す。
(防火上主要な間仕切りを貫通する配管は、区画貫通処理(大匠認定工法)にて施工すること。)
9. 空調機・点検口設置箇所には、天井開口補強を行うこと。
10. Dの管は、側溝放流とし、防虫網(SIS製)を設置すること。
11. 110V配線の露出部分は110V-A型にて施工を行うこと。
12. 高所での作業時は墜落制止用器具を着用し、安全対策を実施すること。
13. 外壁部及び水密を必要とする27抜き後の補修は、防水コーキング等で処理を行うこと。

冷媒配管サイズ表

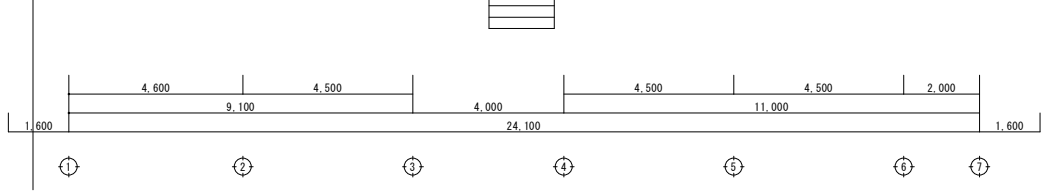
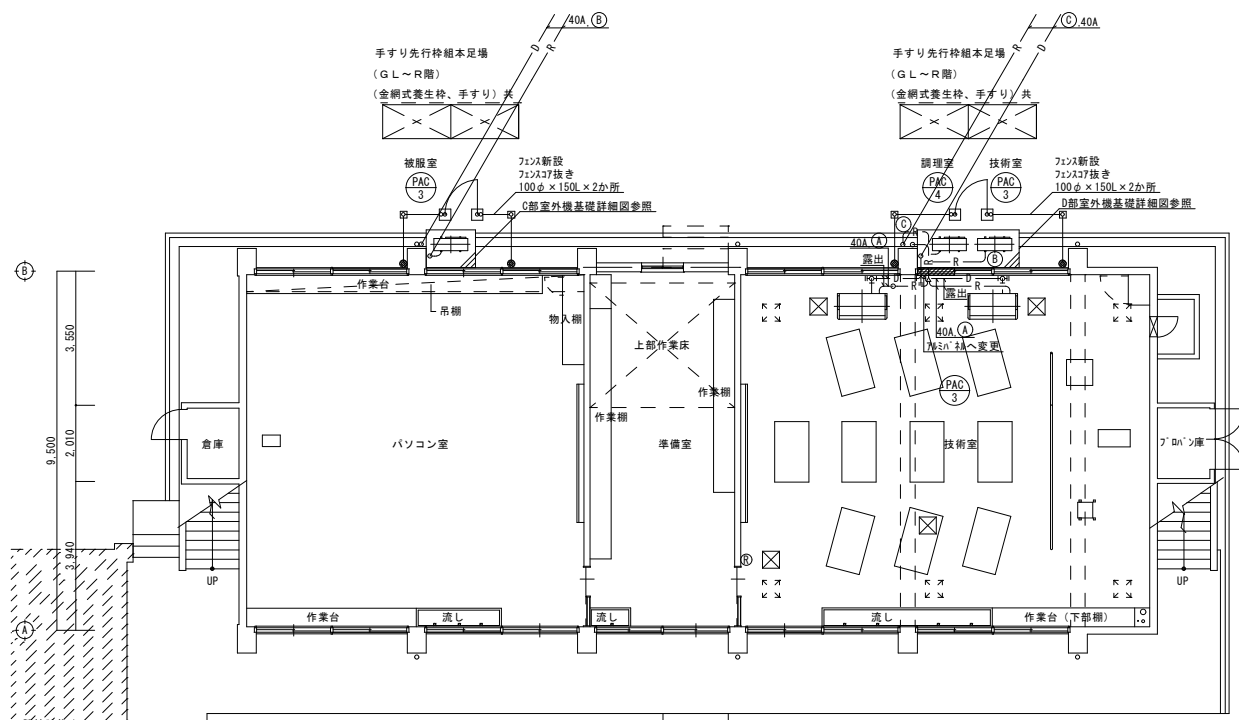
記号	液管 - ガス管
Ⓐ	9.5φ - 15.9φ
Ⓑ	9.5φ - 25.4φ
Ⓒ	12.7φ - 25.4φ

市来中学校

備 考	一級建築士事務所 知事登録1-4-139号 株式会社 ナ ッ ク 一級建築士登録番号102867号 大角成人	検 印		設計年月日	工 事 名	市来中学校空調整備工事(機械設備)	図面番号
		検 回	担 当	製 図			
	〒890-0014 鹿児島市草牟田2丁目56番17号 電 話 (099) 223-2983	代表取締役	小島真史	縮 尺	図面種類	理科室棟1階平面図(改修後)	M-06
				A 1:1/100 A 3:1/200			



2階平面図 (改修後) S=1:100



1階平面図 (改修後) S=1:100

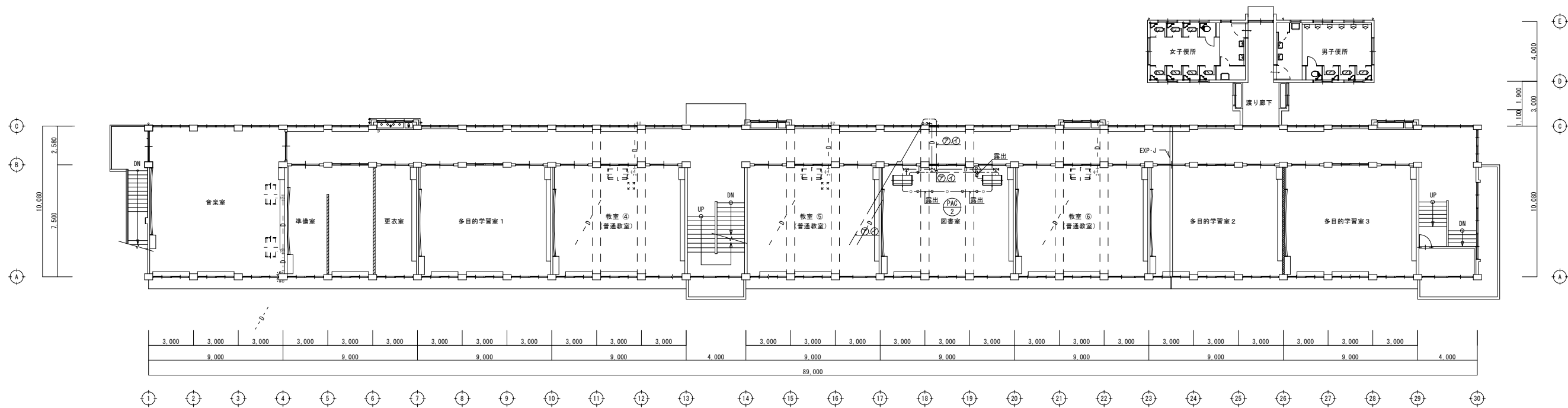
- 注記・凡例)
1. 実線は、機器・配管の新設を示す。
 2. 破線は、機器・配管の既設を示す。
 3. —+— は、既設配管との接続位置を示す。
 4. □ は、新設点検口を示す。(450×450)
 5. ⊗ は、既設点検口を示す。
 6. ⊙ は、コア抜き箇所を示す。
 7. ⊕ は、既設RC壁貫通口再利用箇所を示す。
 8. ●印は、区画貫通処理を示す。
(防火上主要な間仕切りを貫通する配管は、区画貫通処理(大臣認定工法)にて施工すること。)
 9. 空調機・点検口設置箇所には、天井開口補強を行うこと。
 10. ドレン管は、側溝放流とし、防虫網(SUS製)を設置すること。
 11. リンク配線の露出部分は、FIM-B(A型)にて施工を行うこと。
 12. 高所での作業時は墜落制止用器具を着用し、安全対策を実施すること。
 13. 外壁部及び水密を必要とする仕様の補修は、防水コラー等での処理を行うこと。

冷媒配管サイズ表

記号	液管-ガス管
Ⓐ	9.5φ-15.9φ
Ⓑ	9.5φ-25.4φ
Ⓒ	12.7φ-25.4φ

市来中学校

備考	一級建築士事務所 知事登録1-4-139号 株式会社 ナック 一級建築士登録番号102867号 大角成人 〒890-0014 鹿児島市草牟田2丁目56番17号 代表取締役 小島眞史 電話(099)223-2983	検印 検 図 担 当 製 図	設計年月日 R6.9 縮 尺 A1:1/100 A3:1/200	工 事 名 市来中学校空調整備工事(機械設備)	図面番号 M-07
				図面種類 技術家庭科室棟1・2階平面図(改修後)	



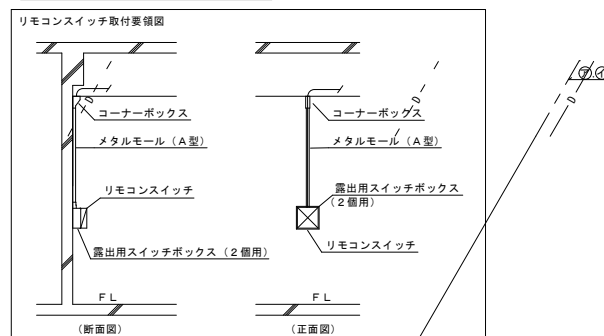
注記・凡例

1. 実線は、機器・配管の新設を示す。
2. 破線は、機器・配管の既設を示す。
3. —|— は、既設配管との接続位置を示す。
4. ⊠ は、新設点検口を示す。(450×450)
5. ⊞ は、既設点検口を示す。
6. ⊙ は、コア抜き箇所を示す。
7. ⊞ は、既設RC壁貫通口再利用箇所を示す。
8. ●印は、区画貫通処理を示す。
(防火上主要な間仕切りを貫通する配管は、区画貫通処理(大臣認定工法)にて施工すること。)
9. 空調機・点検口設置箇所には、天井開口補強を行うこと。
10. ドレン管は、側溝放流とし、防虫網(SUS製)を設置すること。
11. リモコン配線の露出部分はR44-B(A型)にて施工を行うこと。
12. 高所での作業時は基落制止用器具を着用し、安全対策を実施すること。
13. 外壁部及び水密を必要とする17抜き後の補修は、防水コタン等で処理を行うこと。

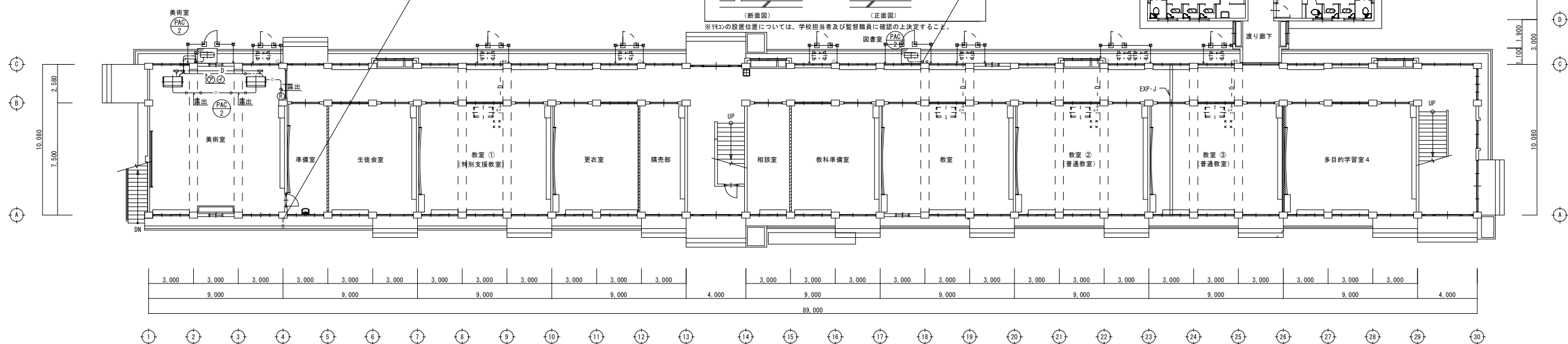
凡例表

電線・ケーブル	電線管 (E)	施工区分
Ⓡ—○— (空調用リモコン)		
EM-CEE2.0°-2C		(コロガシ) 天井内
EM-CEE2.0°-2C		(モール内) 屋内露出部
— — — (操作電源線)		
⑦ EM-CSE-S2.0°-2C		(冷媒管同時巻込み) 室外機~室内機間渡り
⑧ EM-EEF2.0°-3C (10:E)		(冷媒管同時巻込み) 室外機~室内機間渡り

2階平面図 (改修後) S=1:150



※リモコンの設置位置については、学校担当者及び監督職員に確認の上決定すること。



1階平面図 (改修後) S=1:150

市来中学校

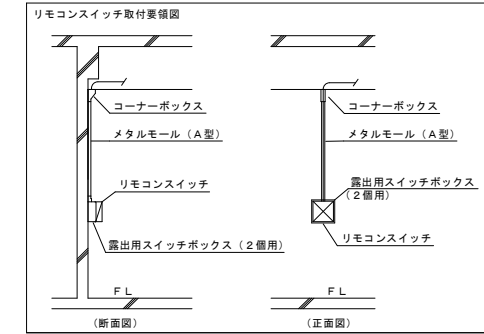
備考	一級建築士事務所 知事登録1-4-139号 株式会社 ナック 一級建築士登録番号102867号 大角成人 〒890-0014 鹿児島市早稲田2丁目56番17号 電話(099)223-2983	校印 検 図 担 当 製 図	設計年月日	工 事 名	市来中学校空調整備工事(機械設備)	図面種類	教室棟1・2階制御平面図(改修後)	図面番号	M-09
			R6.9						

注記・凡例)

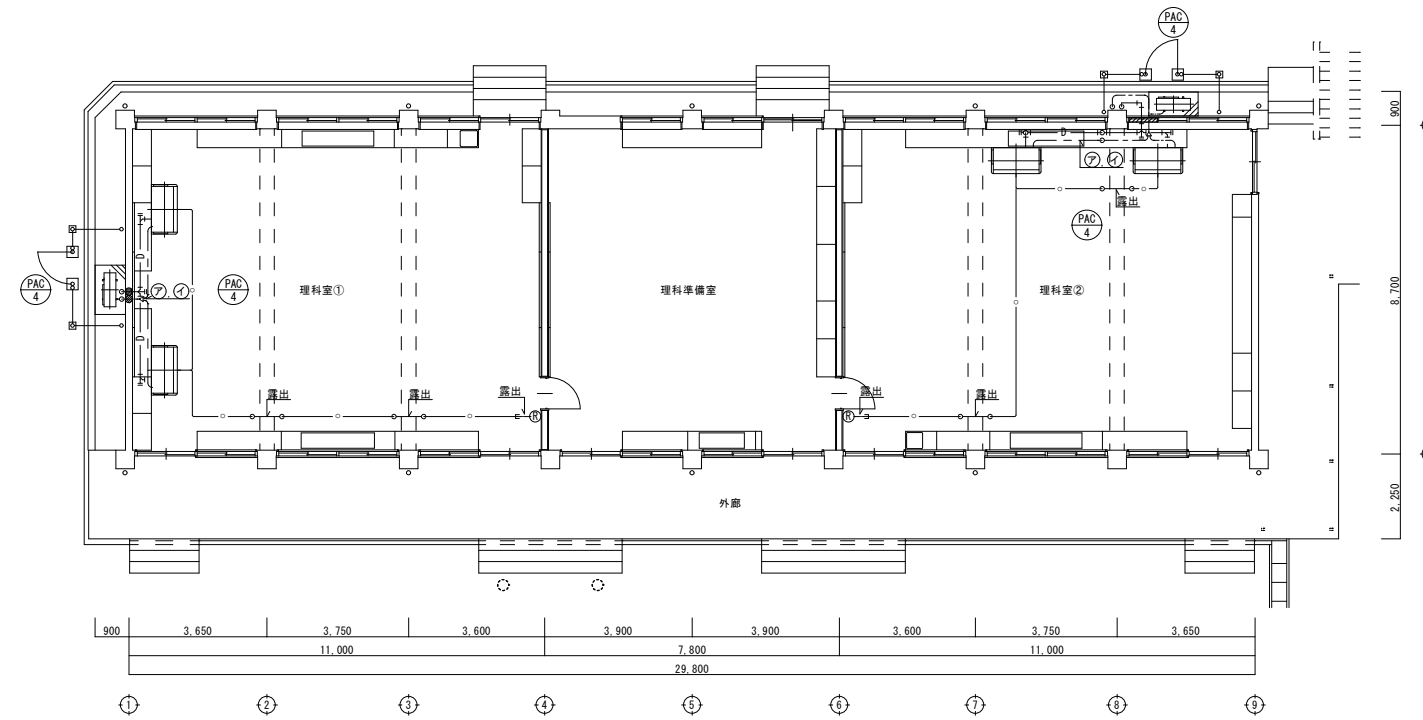
1. 実線は、機器・配管の新設を示す。
2. 破線は、機器・配管の既設を示す。
3. 〃-は、既設配管との接続位置を示す。
4. □は、新設点検口を示す。(450×450)
5. ⊕は、既設点検口を示す。
6. ⊙は、コア抜き箇所を示す。
7. 〃は、既設和室貫通口再利用箇所を示す。
8. ●印は、区画貫通処理を示す。
(防火上主要な間仕切りを貫通する配管は、区画貫通処理(大臣認定工法)にて施工すること。)
9. 空調機・点検口設置箇所には、天井開口補強を行うこと。
10. 1'の管は、側溝放流とし、防虫網(SUS製)を設置すること。
11. 90°配線の露出部分は90°-L(A型)にて施工を行うこと。
12. 高所での作業時は墜落制止用器具を着用し、安全対策を実施すること。
13. 外壁部及び水密を必要とする3'抜き後の補修は、防水コーキング等で処理を行うこと。

凡例表

電線・ケーブル	電線管 (E)	施工区分	
Ⓡ ○ — (空調用リモコン)			
EM-CEE2.0° -2C		(コロガシ)	天井内
EM-CEE2.0° -2C		(モール内)	屋内露出部
— — — (操作電源線)			
⑦ EM-CEE-S2.0° -2C	—	(冷媒管同時巻込み)	室外機~室内機間渡り
⑧ EM-EEF2.0° -3C (1C:E)	—	(冷媒管同時巻込み)	室外機~室内機間渡り




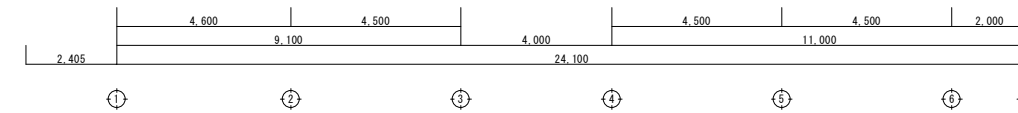
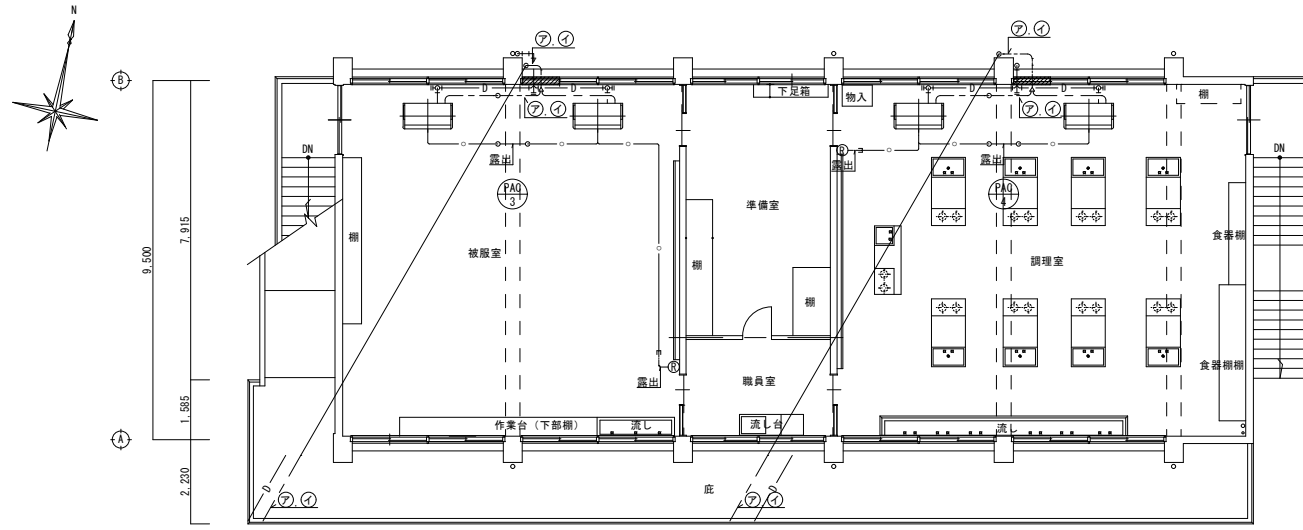
※90°の設置位置については、学校担当者及び監督職員に確認の上決定すること。



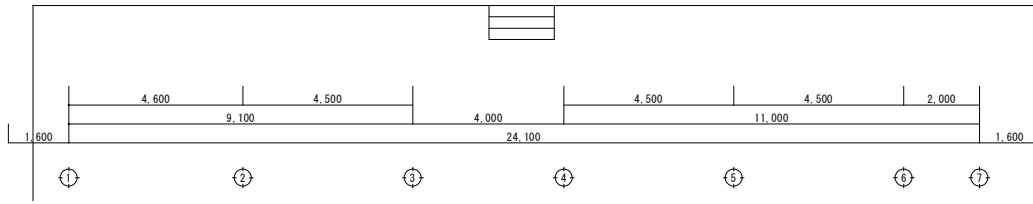
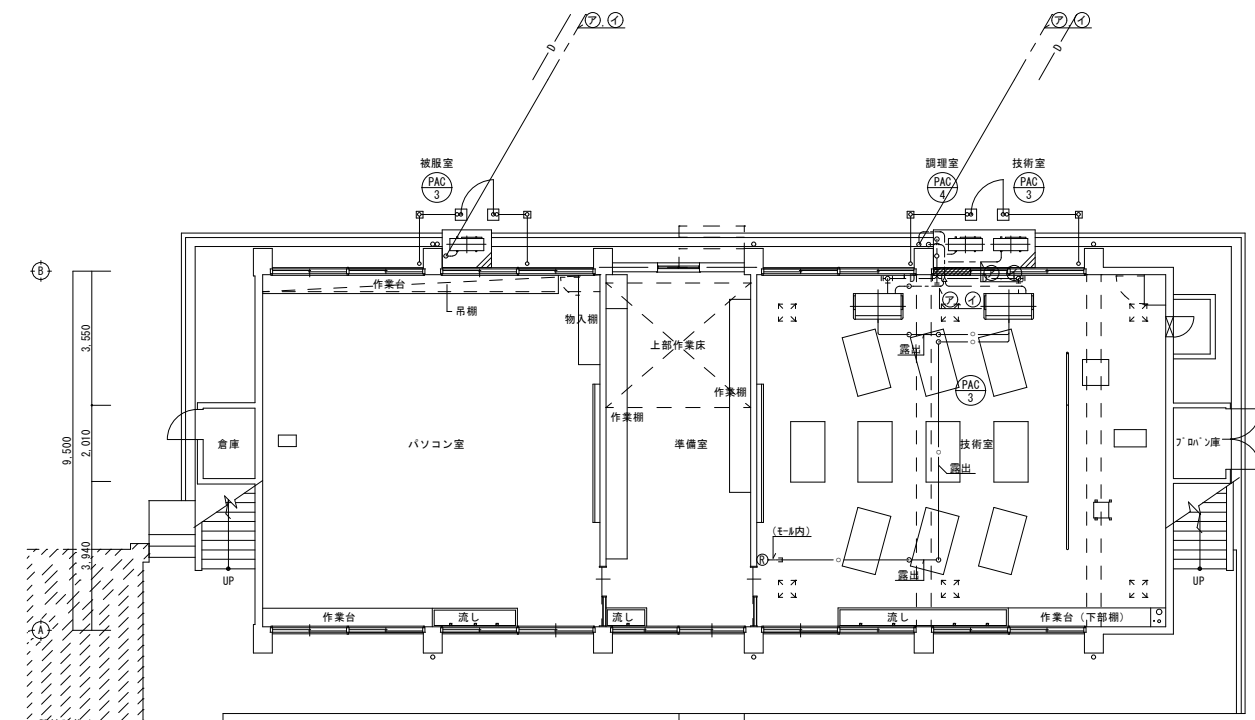
1階平面図 (改修後) S=1:100

市来中学校

備考	 一級建築士事務所 知事登録1-4-139号 株式会社 ナック 一級建築士登録番号102867号 大角成人	検印 検 回 担 当 製 図	設計年月日	工 事 名	市来中学校空調整備工事 (機械設備)	図面番号
			R 6 . 9			
	〒890-0014 鹿児島市草牟田2丁目56番17号 代表取締役 小島真史 電話 (099) 223-2983		縮 尺	図面種類	理科室棟1階制御平面図 (改修後)	
			A 1 : 1 / 1 0 0 A 3 : 1 / 2 0 0			



2階平面図 (改修後) S=1:100



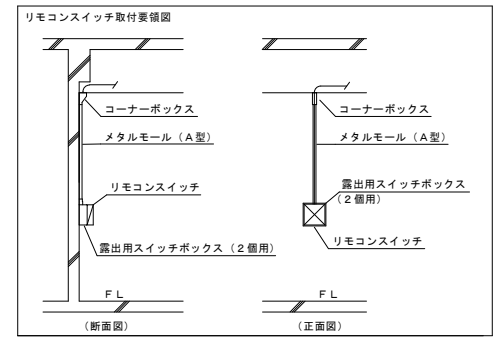
1階平面図 (改修後) S=1:100

注記・凡例

1. 実線は、機器・配管の新設を示す。
2. 破線は、機器・配管の既設を示す。
3. - - - は、既設配管との接続位置を示す。
4. ⊠ は、新設点検口を示す。(450×450)
5. ⊞ は、既設点検口を示す。
6. ⊙ は、コア抜き箇所を示す。
7. ⊚ は、既設R0壁貫通口再利用箇所を示す。
8. ●印は、区画貫通処理を示す。
(防火上主要な間仕切りを貫通する配管は、区画貫通処理(大臣認定工法)にて施工すること。)
9. 空調機・点検口設置箇所には、天井開口補強を行うこと。
10. ↓の管は、側溝放流とし、防虫網(SUS製)を設置すること。
11. 配線の露出部分は、M&E-8(A型)にて施工を行うこと。
12. 高所での作業時は墜落制止用器具を善用し、安全対策を実施すること。
13. 外壁部及び水密を必要とするコ抜き後の補修は、防水コシキ等で処理を行うこと。

凡例表

電線・ケーブル	電線管 (E)	施工区分	
Ⓡ—○— (空調用リモコン)			
EM-CEE2.0°-2C		(コログン)	天井内
EM-CEE2.0°-2C		(モール内)	屋内露出部
- - - (操作電源線)			
⑦ EM-CEE-S2.0°-2C		(冷媒管同時巻込み)	室外機～室内機間渡り
① EM-EEF2.0°-3C (1C:E)		(冷媒管同時巻込み)	室外機～室内機間渡り



※⑦の設置位置については、学校担当者及び監督職員に確認の上決定すること。

市来中学校

備考	一級建築士事務所 知事登録1-4-139号 株式会社 ナック 一級建築士登録番号102867号 大角成人 〒890-0014 鹿児島市草牟田2丁目56番17号 代表取締役 小島真史 電話(099)223-2983	検印 検 図 担 当 製 図	設計年月日 R6.9 縮 尺 A1:1/100 A3:1/200	工 事 名 市来中学校空調整備工事(機械設備)	図面番号 M-11
	図面種類 技術者廊下室棟1・2階制御平面図(改修後)				

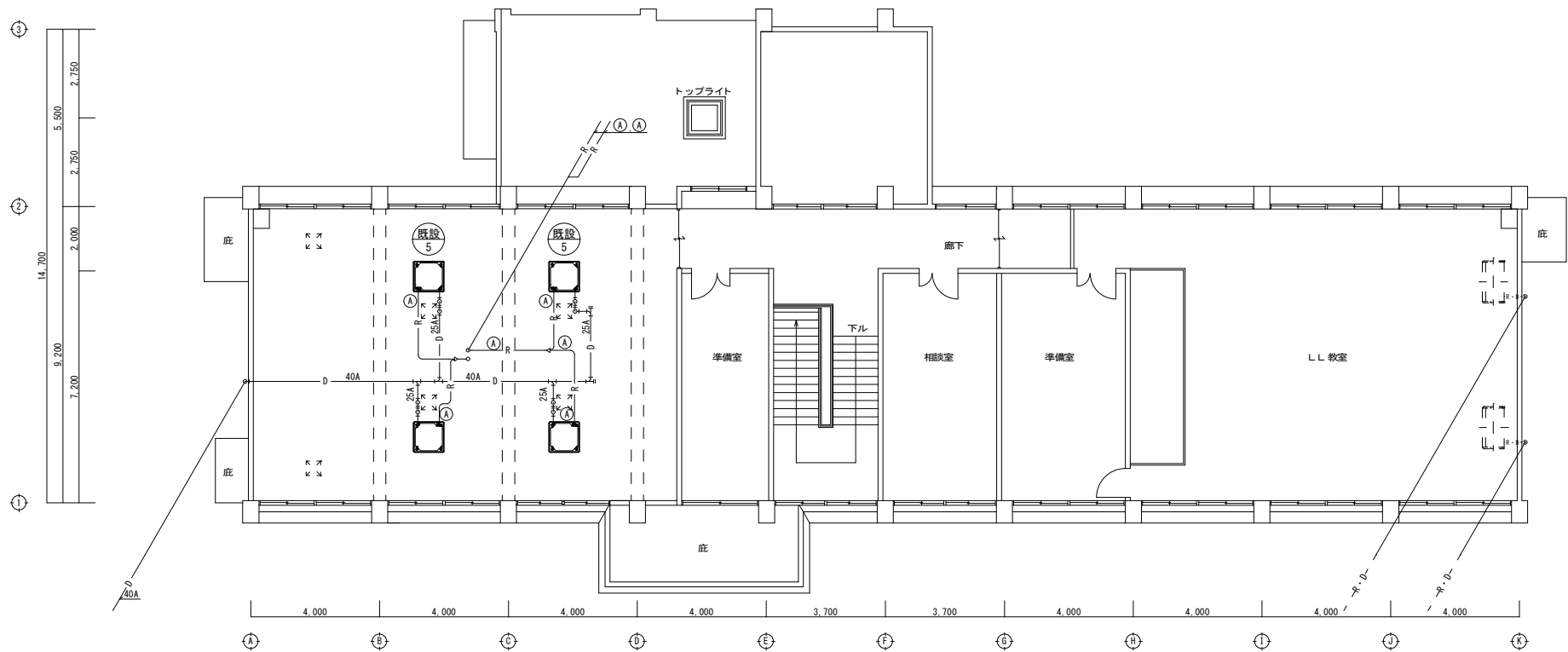
機器表 (撤去)

記号	名称	機器仕様	電源		台数	対象教室	備考
			相	V			
PAC 2	空冷ヒートポンプ「ナッケー」1732	天吊型 4方向同時タイプ	3	200	1	2階図書室	室外機重量: 203kg
		冷房能力: 20.0kw					室内機重量: 49kg×2
		暖房能力: 22.4kw					
既設 1	空冷ヒートポンプ「ナッケー」1732	天吊型 シングルタイプ	3	200	1	1階保健室	室外機重量: 75kg
		冷房能力: 7.1kw					室内機重量: 30kg
		暖房能力: 8.0kw					
既設 2	空冷ヒートポンプ「ナッケー」1732	壁掛け型 シングルタイプ	3	200	2	1階理科室②	室外機重量: 96kg×2
		冷房能力: 11.2kw					室内機重量: 40kg×2
		暖房能力: 11.8kw					
既設 3	空冷ヒートポンプ「ナッケー」1732	天吊型 シングルタイプ	3	200	1	1階理科室①	室外機重量: 99kg
		冷房能力: 11.2kw					室内機重量: 37kg
		暖房能力: 12.5kw					
既設 4	空冷ヒートポンプ「ナッケー」1732	天吊型 シングルタイプ	3	200	1	1階理科室①	室外機重量: 128kg
		冷房能力: 11.200kcal/h					室内機重量: 59kg
		暖房能力: 12.500kcal/h					
既設 5	空冷ヒートポンプ「ナッケー」1732	天井埋込8方向型 (4方向) 4方向同時タイプ	3	200	2	2階ホール	室外機重量: 105kg×2
		冷房能力: 16.0kw					室内機重量: 29.5kg×4
		暖房能力: 17.0kw					

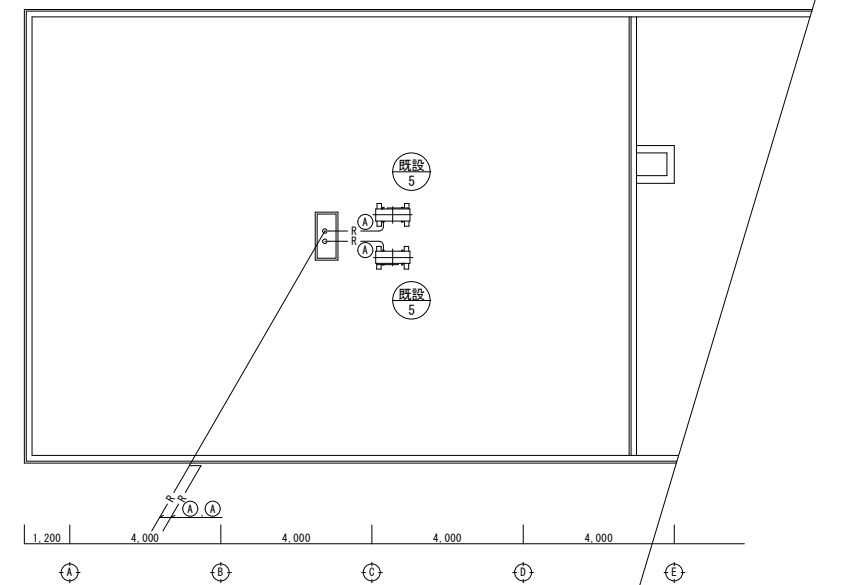
凡例表 (撤去)

記号	名称	管種
—R—	冷媒管	冷媒用銅管
—D—	ドレン管	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)

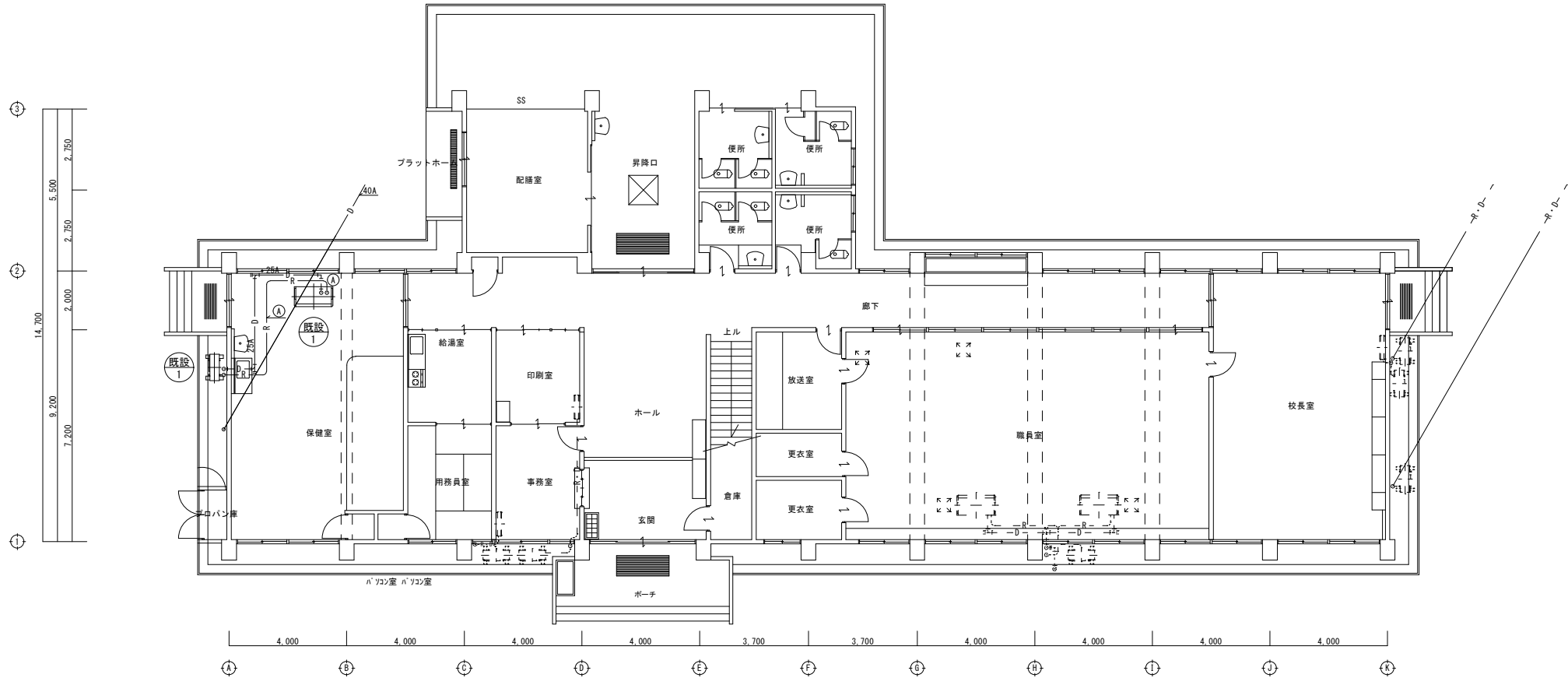
備考	 一級建築士事務所 知事登録1-4-139号 株式会社 ナ ッ ク 一級建築士登録番号102867号 大角成人	検印 検 図 担 当 製 図	設計年月日	工事名	市来中学校空調整備工事 (機械設備)	図面番号
			R6.9			
	〒890-0014 鹿児島市草牟田2丁目56番17号 代表取締役 小島真史		縮尺	図面種類	撤去機器表、凡例表	M-12
			A1: N.S A3: N.S			



2階平面図 (改修前) S=1:100



R階平面図 (改修前) S=1:100



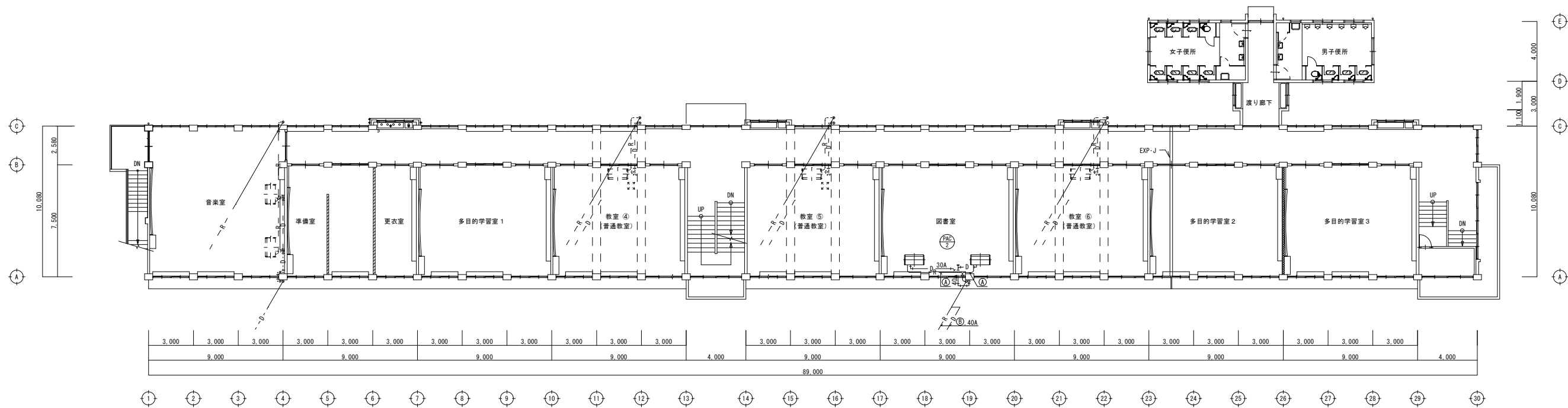
1階平面図 (改修前) S=1:100

- 注記・凡例
- 太線は、機器・配管の撤去を示す。
 - 破線は、機器・配管の既設・残置を示す。
 - は、既設点検口を示す。
 - 撤去後の不要な配管穴等には、穴埋め補修を行うこと。
 - 高所での作業時は墜落制止用器具を着用し、安全対策を実施すること。

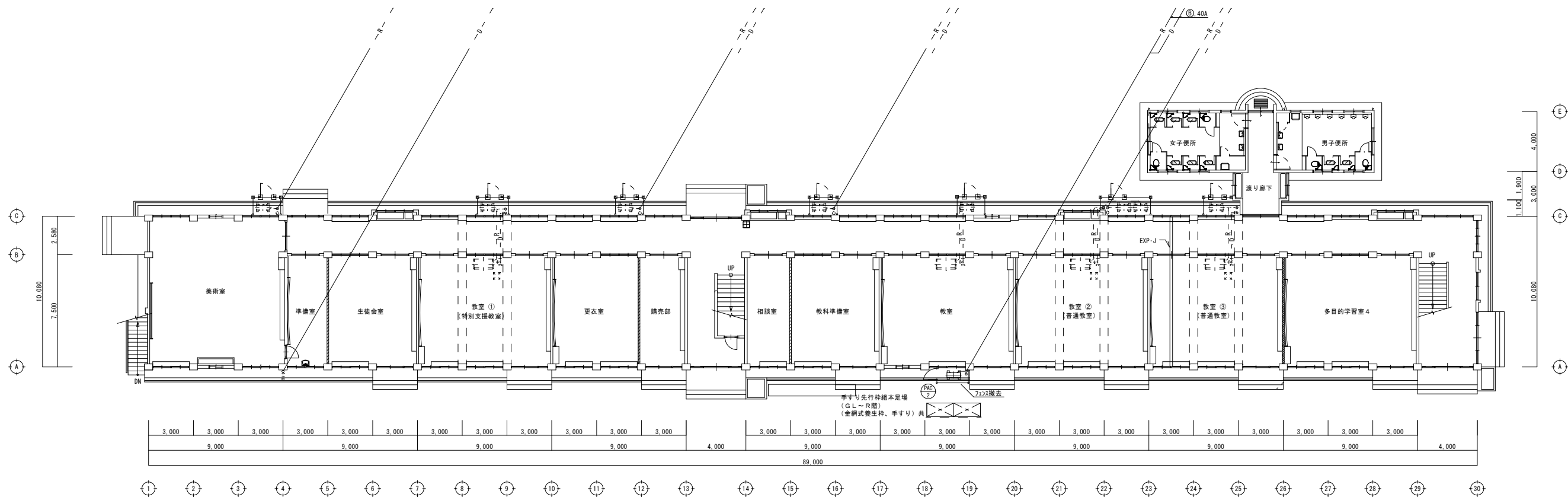
記号	液管-ガス管
Ⓐ	9.5φ-15.9φ
Ⓑ	9.5φ-19.1φ
Ⓒ	12.7φ-19.1φ

市来中学校

備考	一級建築士事務所 知事登録1-4-139号 株式会社 ナック 一級建築士登録番号102867号 大角成人	検印 検 図 担 当 製 図	設計年月日 R6.9	工 事 名 市来中学校空調整備工事 (機械設備)	図面番号 M-13
	〒890-0014 鹿児島市草牟田2丁目56番17号 電話 (099) 223-2983	代表取締役 小島真史	縮 尺 A1:1/100 A3:1/200	図面種類 管理棟1・2階平面図 (改修前)	



2階平面図 (改修前) S=1:150



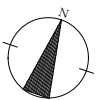
1階平面図 (改修前) S=1:150

注記・凡例

1. 太線は、機器・配管の撤去を示す。
2. 破線は、機器・配管の既設・残置を示す。
3. 〃は、既設点検口を示す。
4. 撤去後の不要な配管穴等には、穴埋め補修を行うこと。
5. 高所での作業時は墜落制止用器具を着用し、安全対策を実施すること。

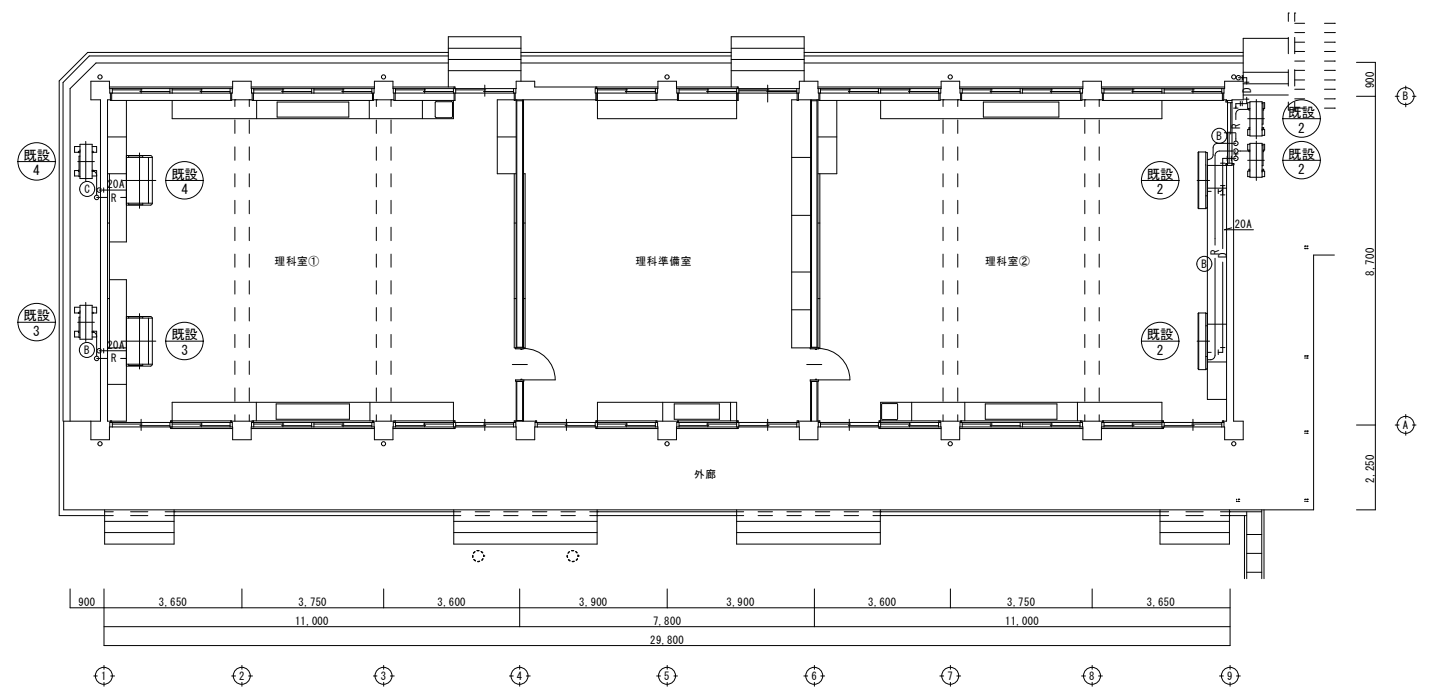
冷媒配管サイズ表

記号	液管-ガス管
①	9.5φ-15.9φ
②	9.5φ-19.1φ
③	12.7φ-19.1φ



市来中学校

備考	一級建築士事務所 知事登録1-4-139号 株式会社 ナック 一級建築士登録番号102867号 大角成人 〒890-0014 鹿児島市早稲田2丁目56番17号 電話(099)223-2983	校印 検図 担当 製図	設計年月日	工事名	市来中学校空調整備工事(機械設備)	図面番号
			R6.9			
			縮尺			
			A1:1/150 A3:1/300			M-14



注記・凡例

- 太線は、機器・配管の撤去を示す。
- 破線は、機器・配管の既設・残置を示す。
- ※は、既設点検口を示す。
- 撤去後の不要な配管穴等には、穴埋め補修を行うこと。
- 高所での作業時は墜落制止用器具を着用し、安全対策を実施すること。

冷媒配管サイズ表	
記号	液管-ガス管
①	9.5φ-15.9φ
②	9.5φ-10.1φ
③	12.7φ-19.1φ

1階平面図 (改修前) S=1:100

市来中学校

備考	株式会社 ナック 〒890-0014 鹿児島市草牟田2丁目56番17号 電話(099)223-2983	代表取締役 小島真史	検印 検 回 担 当 製 図	設計年月日 R6.9	工事名 市来中学校空調整備工事(機械設備)	図面番号 M-15
			縮尺 A1:1/100 A3:1/200	図面種類 理科室棟1階平面図(改修前)		

